７．富士宮市における地域公共交通の課題の整理

７－１．富士宮市における地域公共交通の課題
７－２．富士宮市の現状からみた課題
７－３．利用者や市民の意向からみた課題

7－1．富士宮市における地域公共交通の課題の整理

本市における公共交通の課題は、次のとおりである。各項目について、以下に詳述する。

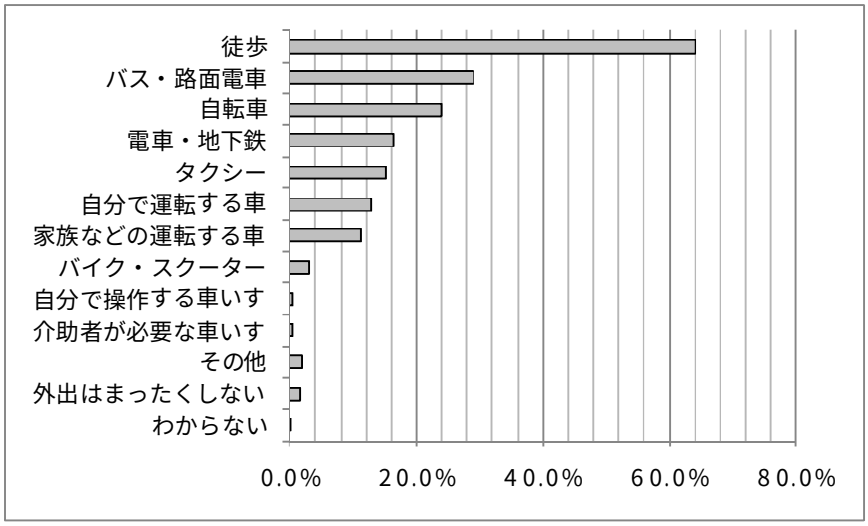
本市の現状からみた課題	
1)地区特性からみた課題	
	a)高齢者などの需要増加への対応
	b)効果的な財政投資に向けた検討
2)地域公共交通の現状からみた課題	
	c)公共交通空白地域への対応
	d)既存バス路線の経年的な利用者減少への対応
利用者意向や市民意向からみた課題	
	e)利用しやすい公共交通の検討
	f)市民意向に沿った公共交通網の構築
	g)将来にわたる公共交通重要への対応

7－2．富士宮市の現状からみた課題

1) 地区特性からみた課題

a)高齢者などの需要増加への対応

本市においては公共交通の主な利用者である高齢者人口の増加が今後も続くと想定される。また、高齢化率の上昇も想定され、これは、高齢者夫婦のみや一人暮らし高齢者の世帯増加を招くと考えられる。このような状況の中で、「一人暮らしの高齢者に関する意識調査（2002：内閣府）」によると、一人暮らしの高齢者の外出手段は、徒歩に次いでバスなどの公共交通の利用が多いとされている。このため、今後、高齢者などの公共交通に対する需要増加が予想される。



出典：内閣府「一人暮らし高齢者に関する意識調査」（2002）

図 7-1　一人暮らし高齢者の外出手段

一方、観光客については、富士山という日本を代表する観光資源を抱えており、政府の観光立国の推進により、外国人をはじめ多数の観光客の来訪が予想される。また、国内の観光客については、全国的な高齢化の状況から高齢者の割合が増すと想定される。

このため、今後想定される高齢者などの交通弱者や観光客などの公共交通に対する需要増加への対応が課題となる。

b)効果的な財政投資に向けた検討

本市では、地域公共交通に対しては、「宮バス」、「宮タク」の運行経費のほか、市内の不採算バス路線への補助など、年間約 1,800 万円程度を支出している。

一方、本市の一般会計歳入決算額は減少傾向にあり、また、平成 18 年度には「財政健全化計画」を策定（平成 20 年度に第 2 次改定）し、行財政改革・財政健全化に取り組んでいる。

今後は、社会保障費の増大も考えられる状況の中、市民ニーズを踏まえた地域公共交通の確保・充実に向け、効果的な財政投資の検討が課題となる。

2) 地域公共交通の現状からみた課題

c)公共交通空白地域への対応

本市では平成 20 年度の民間バス路線の廃止への対応として、「宮バス」及び「宮タク」を導入し、公共交通の確保を図っている。

市内には依然として多くの公共交通空白地域が存在しており、このような地域では、市民が生活する上で最低限のサービスとしてシビルミニマムな公共交通サービスの提供が求められる。

このため、市内の公平性を考慮した中での公共交通空白地域への対応が課題となる。

d)既存バス路線の経年的な利用者減少への対応

現在、本市内を運行している民間バス路線の利用者は年々減少傾向にあり、それに連動し、バス路線は減便や廃止がされている。

市民アンケートでは、不採算バス路線に対する補助の継続による運行維持が望まれており、既存バス路線の維持に向け、利用者の減少を食い止めるための対応が課題となる。

７－３．利用者や市民の意向からみた課題

e)利用しやすい公共交通の検討

日常の移動手段におけるバスの利用が少ない中で、市民アンケートの結果からは、バスを利用しない人のうち約半数が、バスサービスが改善された場合にはバスを利用するとしており、バスサービスの改善による利用者の増加が期待できる。

このため、バスサービスの改善による利用しやすい公共交通の検討が課題となる。

f)市民意向に沿った公共交通網の構築

市民アンケートでは公共交通の充実を望む声が多い。また、利用者アンケートにおけるバスを利用する理由の一つとして「自宅や目的地からバス停が近い」ことが挙げられている。加えて、バス利用者の利用目的においても「通院」が多く挙げられている。

このことから、市民アンケートにおいても運行要望の多い医療施設や公共施設などと連携した公共交通網の構築による利便性の向上が課題となる。

g)将来にわたる公共交通需要への対応

利用者アンケートの結果から、路線バスの利用者の多くは高齢者、会社員や学生で、ほぼ毎日利用している人が多い。

このように、日常生活の足として、高頻度での利用が多いことから、将来にわたり公共交通に対する一定のニーズは変わらずに発生することが想定され、公共交通を地域の足として維持し、持続可能なものとしていくことが課題となる。